

4月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|---|--------------------|
| 1 | 日 時 | 令和4年4月28日(木) | 午後5時30分から午後6時30分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
青島美子委員、秋元富敏委員、鈴木好美委員、大橋弘和委員 | |
| 4 | 出席職員 | 藺田欣也教育部長、鈴木智也教育総務課長、内藤弘隆学府一体校推進室長、水野康代学校給食課長、小沼裕樹学校教育課長、岡本由紀子中央図書館長、竹内直文文化財課長、伊藤方伸地域づくり応援課長、鈴木雅樹スポーツ振興課長、伊東直久幼稚園保育園課長、大石修次放課後児童支援室長 | 傍 聴 人 0人 |

(進行委員：青島美子委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○皆さんこんにちは。メンバーが新しく変わり、4月の初めの定例教育委員会となります。私からは、6つの基本ラインと教育施策について話します。基本ラインの1つ目は「戦う令和」です。コロナとの戦いでこの2年間大変な思いをしてきましたが、何よりも子どもたちの命、職員の命を大切にしたいと考えています。2つ目は「冷暖自知」です。デジタル社会の中で一人一人が端末を活用して事業開拓を行うなどと謳われていますが、人間の一生を作っていくのは生きる糧となる自分の経験であり、学びのポイントは自知体験だと思います。冷たい暖かいに触ってみたいと分かりません。そういう体験をして、それを自分のものにすることが大切です。それから3つ目は「一人も一人にしない」ということです。SDGs(持続可能な開発目標)でいわれる「Leave No One Behind」を「誰一人見放さない」と訳していますが、ある校長先生が訳した「一人も一人にしない」という言葉の方が教育の基本姿勢だと思います。その一つの姿勢として「あすなろⅡ」ができたということです。4つ目は「コロナと一緒に」ということです。マスクの下の感情を受け止めるアイコンタクト、瞬間的に目と目で会話をすることが大切です。5つ目は「深い子ども理解」です。緊張感を持って子どもと接し、なぜそういう行動しかできないのか、なぜ自己肯定感が低いのかなどに触れていきたいと思います。6つ目は「子どもと先生の営々たる日々の中に教育の本質がある」ということです。生徒と教師が教える、教わる。そういった繰り返しの活動の中に教育の本質があることを忘れないようにしたいと思います。

それから、教育施策について触れておきます。1つ目は、向陽学府を「新時代の新たな学校づくり」として行っていますが、中には「学校をそのまま今のまま残すように」という話が出ます。今のまま残すということは10年後もそのまま良いという選択をすることになります。10年後にそこだけ単独校が存在するということを考えてほしい。時として変えないことが罪になることもあると思うのです。小中合同にして地域連携の可能性、2・5・2制の開かれたカリキュラムの可能性、多機能型の要素を持った学校経営の可能性を考えていきたいと思います。2つ目は、日本で初めてとなる2回目の国分寺整備です。20年以上かけた調査活動をもとに行っています。3つ目は、学校の部活動の問題です。土日を切り離して考えていくことが重要なポイントになると思います。4つ目は、GIGAスクールについてです。オンライン授業など、当市は他市と比べて先進的な状況にあると思いますが、コンピューターを使えばそれで良いのではなく、コンピューター

を使って子どもをいかに成長させるかということが大きなポイントだと思います。そのほか、学校給食課、地域づくり応援課、幼稚園保育園課、図書館との積極的な連携も大きな課題ですので、意見交換しながら進めていきたいと思っています。

最後に、私事ですが、3年間続いた静岡県都市教育長協議会会長の職を無事終えることができました。専門官や部長など、皆さんのおかげで充実した毎日を過ごすことができました。まだまだコロナ禍で大変なことが続くと思いますが、よろしくをお願いします。

3 前回議事録の承認

3月24日定例会に関して

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○私からは5月の臨時議会について報告します。内容は副議長の選任と副議長の変更に伴う委員会委員の変更で、一般質問はありません。副議長の任期は1年で、所属する委員会は総務議会となります。議案等は当局から報告1件、一般議案2件、人事議案1件です。

<質疑・意見>

なし

5 議事

・議案第19号 学校体育施設利用運営協議会委員の委嘱等について

○本協議会は磐田市立学校の施設開放に関する条例に基づくもので、安全かつ効率的な学校主体の施設利用計画の策定について協議します。任期は1年です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第19号は原案どおり承認された。

・議案第20号 学校体育施設利用管理指導員の任命について

○学校体育施設の開放に伴い、危険防止等の施設管理やその他指導を行うため、学校体育施設利用管理指導員を置くものです。任期は1年です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第20号は原案どおり承認された。

・議案第21号 磐田市立幼稚園等防火管理者の辞令発令について

○磐田市立幼稚園管理規則第20号第16条の規定によるもので、別紙の施設管理者を防火管理者に任命します。任期は1年です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 21 号は原案どおり承認された。

・議案第 22 号 学校運営協議会委員の任命について

○本協議会委員は、磐田市学校運営協議会規則第 4 条第 1 項の規定により、コミュニティースクールを支える 349 名の委員を各学校から推薦してもらったものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 22 号は原案どおり承認された。

・議案第 23 号 いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等について

○本協議会委員は、磐田市いじめ防止等対策推進条例第 9 条第 3 項の規定によるものです。今年度は新たに 7 名が変わり、合計 11 名となります。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 23 号は原案どおり承認された。

・議案第 24 号 いじめ防止等対策推進委員会委員の委嘱について

○本委員会委員は、磐田市いじめ防止等対策推進条例第 10 条第 4 項の規定により、重大事態の調査やいじめ防止等の対策について協議する委員 5 名を委嘱するものです。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 24 号は原案どおり承認された。

・議案第 25 号 磐田市歴史文書館運営審議会委員の委嘱について

○委員のうち、総務部長の人事異動に伴い残任期間を委嘱するものです。審議会は 5 月 25 日に開催する予定です。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第 25 号は原案どおり承認された。

7 報告事項

(1) 地域づくり応援課

○新たに子ども・若者と笑顔でつながる地域の集いは、青少年健全育成の集いをリニューアルしたもので、事例発表やパネルディスカッションを行うものです。

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

○磐田市幼児教育保育推進計画については、第三期ということで令和4年から令和8年までの計画であり、市議会にて承認をいただき、公表させていただくものです。この計画は、幼児教育・保育の充実を目指すための政策を企画立案していくための基礎となるものです。また、4月11日の幼稚園の入園式には皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

<質疑・意見>

■この計画を新聞で知り、ホームページを見たのですが、教育委員としては新聞に出る前に内容を知っておきたいと思います。入園式や卒園式へ行くと、園長先生は私たちが色々知っていると思っ

て話をしてくれますが、その際に何も知らないのでは困ってしまいます。特に幼稚園の民営化については、小学校に幼稚園が付属しているところが磐田の特色であったし、園長先生は小学校と強く繋がっていたいという姿勢を強く感じたこともあり、事前に内容を知っていれば色々と話が出来たと思います。

□市の情報発信や庁内の情報共有について、もう一度見直して、うまく情報共有が図られるようにしたいと思います。

■私たちは磐田の子どもたちをこういう風に育てたいという意見を言える立場だと思っていますので、そういった計画に少しでも意見を反映させたいと思います。

■幼稚園の民営化やこども園化については、市民からよく話を聞きます。長時間預かってもらえるところに子どもを預けたいというニーズに応えることが市の施策の意図だと思いましたが、そういう説明を相談されたときに話ができれば良いと思います

□幼稚園の民営化については、この保育推進計画の中の18ページに記載されています。議員懇談会でもこのページを説明します。どことどこを何年までに合併して支援センターを作るという内容になっていますが、これは今後変わってくる可能性があります。この辺りを幼稚園保育園課長が事前に説明してくれると良いと思います。簡単にできる問題ではなく、現状の幼稚園教育の現場等を見ながら考えていく必要があると思います。

(3) 教育総務課

・令和4年度学校施設整備事業概要について

○施設整備事業に関しては、校舎や体育館のトイレの洋式化や屋上防水改修トイレの増設等が主な工事となります。防災機能強化事業は、落下防止対策として天井吊り下げ型の黒板棟を天井直付けにする工事です。空調設置事業は、管理諸室や普通教室について特別教室や学級編成により増加した教室に空調設備を設置します。今年度から学校施設の更新計画に基づいて事業を実施し、長寿命化を図っていきます。

・放課後児童クラブの運営について

○市直営の放課後児童クラブは、4月1日現在50ヵ所です。令和3年度に新設・増設したクラブはありません。利用状況は1,563名で、前年度比較で52名増です。待機児童は148名で、前年度比較で63名増です。

<質疑・意見>

■待機児童の人たちは入れなかったらどうしているのですか。

□数字は日々変わり、昨日時点で待機児童は128人に減っています。退所された場合に改めて審査して、優先順位が高い人から入所を案内します。また、民営のクラブへ入る人もいます。それでも最後まで入れなかった人は、ご家庭で何か工夫をされているものと思われま

■3年生や4年生が多いのは、1年生から優先的に入れている、または5年生や6年生になると家に居てもらうことが増えるということですか。

□そのとおりです。低学年の方が優先順位は高いです。また、待機児童は学区によって偏りがあり、ある学区は待機児童がゼロというところがあります。

■部活動の地域移行について、現状を教えてください。

□文部科学省、文化庁、スポーツ庁など各方面から部活動のあり方が出ていますが、基本的には土日の部活動を学校から切り離していこうという内容です。先生の勤務時間の問題だったり、子どもの多様性の問題だったりしますが、有識者会議では3年計画を作ったらどうかという意見があります。県の部活動の指定を受けている掛川市や、スポーツ庁の指定を受けて研究している焼津市の事例がありますが、地域でスポーツが出来るクラブをどうやって活用していくかを具体的に考えていきます。

(4) 学校給食課

<質疑・意見>

■豊岡地区で持参米飯が無くなったことは、問題ありませんでしたか。

□アンケートで7割くらいの保護者が見直して欲しいということでした。特に苦情はありませんでした。

(5) 学校教育課

・地域学校協働活動推進委員の委嘱について

・結核対策委員の委嘱等について

・就学支援委員の委嘱等について

・産業医の委嘱について

○地域学校協働活動推進委員は、コミュニティスクールに関するコーディネーターやディレクターなどを各学校で推進をしてもらっている委員となります。

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

○文化庁調査官指導は、史跡整備事業に関して監督指導を行います。一昨日国分寺と旧見付学校をメインに見てもらったため、新豊院山古墳群は行けませんでした。

<質疑・意見>

■文化財を守る・活かす動画の完成とありますが、どのような内容で、どういう活用をするのかを教えてください。

□YouTubeで「磐田TV」と検索していただくと「文化財を守る・活かす」と画面に大きくオレンジ色の文字が出ますので、一度ご覧になってください。注目していただきたいのは、県の文化財保存・活用の支援団体として認定を受けている団体の方々にお話をいただいているところです。行政と民間が手を取り合って、今後も文化財の保存と活用に取り組むという内容です。

8 協議事項

なし

9 その他

■先日、ユネスコのチラシの中で「防災リーダー養成講座」というものがあり、小学生から高校生が参加して、実効性のある体験ができたとありました。毎年防災訓練を行っていますが、こういうものを参考にして、学校でも取り組んだら面白いと感じました。

□記事の内容と一致するかわかりませんが、磐田市でもことし前年度から県と教育委員会が連携してジュニア防災士の講座を行っています。

□全員ジュニア防災士の資格を取れるように進めています。これはユネスコが中心となって行っている講座で、その辺の実践記録が具体的に分かれば情報発信していきます。

10 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和4年5月31日（火） 午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

11 閉会